

総務省 様 説明資料

IoT共通基盤技術の確立・実証について

総務省 情報通信国際戦略局
平成28年2月17日

【28当初】 IoT共通基盤技術の確立・実証 3.5億円（新規）

主な政府の方針：

○経済財政運営と改革の基本方針2015

AI、ビッグデータ、IoTの進化等により全ての産業で産業構造の変革が生じる可能性がある中、データを活用した新たなビジネスモデルの創出など社会変革を促すことが必要

○一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策

IoT等の先端技術の産業化を推進する。

概要：

- ① 多様なIoTサービスを創出するため、膨大な数の機器を迅速かつ効率的に接続する技術、異なる無線規格の機器や複数のサービスをまとめて効率的かつ安全にネットワークに接続・収容する技術等の共通基盤技術を確立するとともに、欧米のスマートシティ等に係る実証プロジェクト等と協調して、国際標準化に向けた取組を強化する。
- ② 産学官による「スマートIoT推進フォーラム」とも連携し、様々な事業者が最適なIoTシステムの開発・検証を行うことができる環境（IoTテストベッド）を整備し、先進的なIoTサービスの開発・社会実証を推進する。

目標：

- 2020年に向けて、世界に先駆けた先進的なIoTサービスを実現し、国際標準化を主導する。

スマートコミュニティ
スマートシティ



スマートホーム



電気・ガス・水道



物流・交通



保守・管理



農業、漁業等



※ IoTテストベッドと連携し、様々な分野において多様なIoTサービスの実証を行い、先進的なIoTサービスの創出を推進

